



山が好き —名人 高尾義明さん—

【運搬・機械集材・造林手】
高尾 義明(熊本県八代郡泉村)

三川 花織
八代白百合学園高等学校二年

1・おじゃまします

さ、どうぞ。上がってください。どうぞ。

大丈夫かい。寒くないかい。下とは5℃くらい違うもんねえ。夏は涼しいどこじゃなか。寒い。

空気のよかる？ いいとこだもんねこは。

自動車関係の会社に勤めたあと林業に就いたったい。会社には8年ぐらいおったなあ。インストラクターもしよるよ。インストラクターって俺意味分かんないんだけどね。なかなか難しいなあ、山への勧誘かねえ。やっぱし山のことをね、知ってもらいたい。山の良さ。楽しさ。山をいちんちじゅうまわってね。大変だけどねえ、なかなか楽しかよ。木の種類とか、いろんなこと教えてね。そして、山のよかとこばいっばい写真撮っとたい。写真に撮ったのが好きだん。こういう風にね、四季折々で。まだまだいっぱいあるよ。こぎゃんしてみんなば連れて登っとたい、山に。山には宝のある。

いろんなことをやるけれども、やっぱりみんな関心を持ってね。今まで分かってない森の良さ、山の良さ。それを知ってもらうちゅうことは、うれしいねえ。感無量じゃ。逆にねえ、俺は都会の人からねえ、知らないことの質問があったりして困ってる。だから俺禿げる。困って(笑)。関心を持ってもらえるちゅうことは、ありがたいなあ。



「蜂の巣」

平成3年かな。台風で木が倒れてねえ、自衛隊の指導で1ヶ月行ってきたこともある。木が倒れて、どうしても除去できなかったったい。木を倒すのにチェーンソー使わにゃならんでしょうが。チェーンソーの使い方みんな知らんしねえ。危険性があるからね。



(下の段 向かって右から3番目が高尾さん)
「それはボランティアで看板建てに行ったときの。十何人でね。よそ向いとっじゃなかですか。」

1ヶ月。泊り込みで。こういうのは土木業者にはできんねえ。

これ食べてみらんね。蜂の巣。おいしかよ。天然だから。蜂の子が入っとるかもしれんなあ。食べてみるたい。

これキノコ汁。何種類入っとるか見とってんごらん。今日行く所にあるかもしれん。



「キノコ汁」

2・キノコ狩り

今日は大体三時間ぐらい登るよ。国見岳。天然林だ。

宗賢さんと加奈子ちゃんも一緒。子どもがいると賑やかだろ？

登るところまでは車で行くよ。うちの車出そうか。これは山用の車。

吊り橋の見ゆっでしょうが。あそこはね、もとは竹の橋だったんだね。学校の子供達がみんなあそこ通ってた。学校のピアノを運ぶのにもあの橋を使ったんだよ。みんなで

ね、運んでね。今でも学校にある。

あのおっきい木がアナカシ。そして高い木がスギ。アヤ系統のスギ…スギでいいんだね。いっぱいあるけどね、スギでいこうっちゅうことだ。なぜ？ みんなが覚えやすいんだよ。あんまり難しく考えんな。

これは知っとつとど？ サクラだよ。サクラにも種類がいっぱいあるけどね。サクラでいいんだ。

この辺はね、ミズメとかサクラが多いの。春になったら新緑が綺麗。新緑が。すごいよこれ。花も咲く。小さい花がね。ミズメの花はちょっと小さい。山桜とミズメはまたちょっと違う。

また今日も鹿がおるかんしれんな。あ、しまったなあ鉄砲持ってくればよかった。だけど今日はねえ、みいんながキノコ採りやら紅葉狩りやら入っとるけんが持ってけば危ないから。今は鹿が悪いことするからね。鹿は悪いこつぱっかしよる。里山におりてきて、作物を食ったり木の皮をむいて枯らしたりね。この辺だったらジャガイモの新芽を食ったりシイタケを食ったりねえ。イノシシはそんなことせんけどねえ。やっぱり餌が少なくなったからだろうね。

アカマツ林があるでしょ。あそこマツタケが生えるの、マツタケが。やっぱり岩場が多いね。菌が入らんといかんけんね。だけど人が行けないの。危なくて。この辺のは難しい。だけん「待たけ」つつの。

こっから林道に入るぞ。

気持ちいど？ うまいど？ 空気がね。何で空気がうまいしょ？ 木があるからだ。町の空気はまずいもんねえ。なんでうまくないの？ 緑がないからなんだね。このいい空気をいっぱい体に吸い込んで帰らなん。蓄電して帰らなあ。ずっと、一年間の空気がね、もつんだよ。

この辺はだいたい国有林だから、ほんととは誰でも入ったらいかん。勝手に入ったら罰則。なんでも採っちゃいかんの。そのまま、自然のまま置いとくと。ここは身内の人のだっけんね。身内の人がいいですよって言えばいいの。国有林はちゃんと管理者がおって、その人に一言言わないとダメなの。入れないの。今日は特別許可をね、この前からとってあるの。

これ熊笹。鹿が食べよつとだろ。上のほうがね、鹿が食べてしまつて全然ないの。あの木もねえ、鹿がねえ、皮剥いとつてしょうが。皮。角をとぐんだ、角を。これねえ、全部木が枯れてしまう。

こら辺は1000メートルぐらいのとこだね。もうちょっと高いとこ行くか。まだ遠いぞ。まだまだまだ。♪はるかに遠おい～♪ってね。♪この道はあ～♪そういう歌のあったね。

キノコ汁はおいしかったね？ 何種類入つとつたしょ？ シイタケでしょ、シメジでしょ…シメジでも種類があるからね、ブナシメジね。あとナメコ。そしてクリタケ。茶色かやつは2種類はいつとつたろ？ 今キノコは、雨の加減でいつでも採れる。気候が狂つとるけん。地球温暖化でね。狂つてしもとる。いつが何の時期だか俺にもわからん

ようになってしもた。

あ、蜂がついて来よるぞ。ハチミツば知つとつとばい。みんなハチミツ食べたい。だからついてくるんだ。あそこにコンクリートを持ってきたミキサ車の残骸があるでしょうが。あれによ蜂が巣うかける。イエローバチはね、ハチミツが超好きなの。もう1つ大きいやつがスズメバチでおるもんな。おっきいやつ。ブーンてきてボカーンてうつけんね。あれは用心しといてね。

怖いどこっじゃないよアレ。いっぺん顔刺されてねえ。すごく腫れたの。一晩中冷やしとつたよ。蜂には刺されんごつしてくれ。

この辺から登っていくか。足もと気いつけてね。

でかい木だろ？ もう何百年てここに立つとるんだ。おい宗賢、ここに立ってみろ。

あっちのはブナ、ブナ。あれにキノコがいっぱい生える。

これはもう全部広葉樹ね、広葉樹。

そのキノコは毒。動物が食べないヤツは毒があるけん。絶対食べちゃいかん。残つとるヤツは全部毒。

それナメコ。ナメコの子ども。

それは毒じゃない。毒じゃないけどおいしくない。煎じて飲んだりね。癌の薬にもなる。

疲れたか宗賢、がんばれがんばれ。

休憩しようか。ほいバナナ。

サルノコシカケがあるぞ。宗賢、登ってみらんね。大丈夫大丈夫。ほら、ねえちゃんに向かってピースだ。これがほんとのサルノコシカケ。

到着したぞ。ゴウゴウ聞こゆつてしょうが。この崖の下に球磨川の源流があつとたい。崖の先まで行ってごらん。怖くないよ。いい眺めだなあ。

ここでヤッホーと言ってみろ。ヤッホーって。だめだあそんな声じゃ あっちの山にねえ声を掛けなん。

「おお～～～～～いい」

(おお～～～～～いい…)

ってね。

山がいいどお。俺は山の外には行きたくないなあ。山が好き。



「大木」



「休憩」



「サルノコシカケ」



「いい眺め」

今日は疲れたね？ 今日は楽々コースよ。山は楽しくろ？ 山にはいっぱい宝のあっとだけんな。学びの心がある。パワーがある。みんな今日はパワーついたよ。鉄腕アトムだ。

3・ほったて小屋

ほったて小屋にも寄っていかうか。全部自分達で作ったんだ。木を切ってね、全部木で出来とるけんな。

ほら見えてきたぞ。泉村の銀座が。銀座三丁目だ。

ほったて小屋って知っとるね？ 普通建物を建てる時にゃあ、コンクリートでやるでしょ？ だけどほったて小屋っちゅうのは穴を掘ってね、木をそれに入れて、動かないようにするわけよ。昔の住居。ここら辺は全部ほったて小屋。セメントがなかった頃はね。今でん残っとるよ。今でもそこで生活してる。山のイノシシを捕ったりシカを捕ったりね、焼き畑をしてね。焼き畑は食料の為にずっと。ソバとかね。ソバ、ヒエ、アズキ。ソバも健康にいいんだよね、自然にできるから。焼き畑して、ソバ作って、スギの木なんかを植えよったと。前はね。だから面積の小さくて土地のいいところに木を植えてある。ここら辺は焼き畑で作った山。小鳥が前はすごかったけどな。少なくなったな。きれいな小鳥が冬に多かったたい。焼き畑したところが餌場なりよった。餌場が少なくなったとよね。

さあ着いたぞ。



ここで15・6人ぐらい子ども連れてきて泊まらせて、いろんな体験させようかと思とる。

ソバ食わんね。今ヤマメも焼いてやるけんな。まだ焼けんかな。芋もあるよ、芋も。たくさん食べていきなっせ。

ここの真ん中に囲炉裏を作ろうと思っとな。2階も子ども達が泊まれるように改造してね。まだ木じゃないとこも木にしようかと思とる。屋根もね。まだまだやることがいっぱいある。野望じゃね。

4・晩酌

ゆっくりしなっせ。楽にしなっせ、楽に。遠慮なくやって。氣い遣わんでよかったい。自分の家と思っね。

イノシシの肉焼いてやろうかね。自分で捕った肉だ。鉄



「イノシシの肉」

砲で。やっぱ罾より鉄砲の方がおいしかもんね。撃ったところから血の抜けるけんで。

話してくださいってゆわれてもなあ、俺は言葉がヘタクソだからねえ。心じゃいっぱいあるんだけどねえ、出し切らんとたい。感動ばっか伝わってしもうての。

昔はよく木で遊んだよ。ターザンごっこ。ナシの木でね。チャンバラごっこもした。木刀とか作ってねえ、自分で作るんだよ。グミの木で。いろんなことやとったなあ。そして、鎌倉作りとかね。今でん忘れんなあ。

萱ってしっとるか。真萱。あれが一番燃えやすいと。鎌倉の中であれにマッチで火をつけて、火をたいとったんだよ。ずっと、鎌倉の雪がね、溶けてねえ、あとは氷になるんだよ。氷になると長あくもつと。昭和37・8年ぐらいかなあ。中学生頃たい。みんなと一緒にね、わあわあ言ってね。それが楽しくて楽しくて、勉強どころじゃなか。山でどうやって生きるかが勉強たい。

食べ物なかったときは、ユクリの木とかナシの木、アケビを取って食うとたい。山にはねえ、いろんなねえ、食べ物がある。今はカキもちぎらんでね、そんまーまひとつてね。カラスが食うとたい。子供がおらんとでしようなあ。年よりばっかだっけん。昔はけんかして取って食いよったっだけん。そこ登ってよお取りよった。それしか食うもんがなかったけん。授業なんかせんでねえ、アケビん時は、アケビ取り行ったりねえ、木の実がなっとるけんて木の実取り行ったり。だから頭が悪うなった(笑) お菓子なんかなかったけんあ。学問はせんでよかったい。食うもんがなかったんだから。自分で食うもんをとる、住むもんを作る。ああいう時代が戻ってほしいなあ。今はせわしいんだなあ。ばかんことばっかりしてねえ。もいっぺん子どもたちにそういうことを教えたいね。原点に戻ってね。出直し！

おとさんおかさんたちはね、やっぱり一所懸命子供たちば教育さす。大変とばい。この田舎でもね、学校に出さないかん、学校に出さないかんてね。学校学校、塾塾って、大変だねえ。親が大事だ。おとさんおかさんを大事になささい。何が親孝行ですかっということだ。3度の飯を一緒に食うのが親孝行だよ。一緒に暮らすのが一番いいんだ。金じゃねえんだよ。死んだとき花束持って行ってね、そん

ときチンカーンうつだけじゃだめだって俺思うんだよ。

うちのばあちゃん達はだいい苦勞しとっただけけん。ほんつに。子ども育てるっちゅうんは。昔は亭主閑白が多かったけんあ。女の人には特に大変だったつよお。山に仕事行って、また帰ってきて洗濯をして。子どもの世話して。十何人子ども持った人もおっただけけんあ。

布団はなかったけんねえ、そんな頃は。だいいけん、焚き物で、火を燃やしてなあ、暖をとる。くつつき合っただけけん。ほんとの家族だよ。やっぱり女は強いね。我慢ができるんだよね、女はね。男は我慢できんけん。ほんとばあちゃんは尊敬する。昔は木をかうて、朝早おから遠くの山まで行きよったただけけんあ。苗木と自分の弁当ば、かうて。大変だったよ。ばあちゃんは今もう82歳だ。山の空気を吸っとるけん長生きだよ。

木が値段が上がりれば山の人たちは一番助かるとたいねえ。木を要求して、使ってもらえばねえ。もうそれしかないねえ。今の若い子供達は箱型家を建てるでしょうが。木を使わないんだよね。前は木を使って家を建てよったけど、今は木の家が少なくて。木はね、体に優しい。それをみんなね分からない。格好はねえ、まあ好き好きがあるけども。やっぱり今のカンジって言うのは、ぱっとみてきれいつちゅうカンジかな。それでみんな木をあんま使わなくなっちゃう。木が一番優しいとよ。体にね。この家がだいたい120年ぐらいたつとりゃせんか。ここで囲炉裏をしてね、火を炊きよった。かぎをかけて、鍋をかけとった。まだ田舎に行けば、みんなこんな家だんね。こら辺はこんな家が多い。前は家建てるのにも1年から2年かかりよったとよ。みんなで手伝ってね。山だけん、傾斜がたつとるけん、まず地開きをして平地にして。それはもうみんな、加勢でしよった。

お金じゃなくってね、ご飯を出して。親戚とかみんなだね。家建てるのが仕事だった。山から木を切って。車はないから、山であらどりをして、柱のかっこうを作って。そして担いできて。これが1年も2年もかかる。こんな風に木をとるっていうのは、今はもうないだろうねえ。昔は木がないと家が建てられなかったけんね。今外国から入ってきたよ。木が。だいいけん安くなってしまっただけけん。外国は人件費が安いもんねえ。外国の木が今日本の78%、3%下げれば国産材は値段が上がる。3%でいい。百姓でも一緒でしょうが。自由化になったもんだけんね。

作られたことじゃなくて自分でやることだ。地球はあと47年と3ヶ月でなくなる。地球はなくなるぞ。そんなとき頼むぞ。俺が生きてるのは難しいだろ？ おまえ達はどうするんだちゅうとる。おねえちゃんが47年足すといくつになるかなあ、64？ 64の人生をどうやって生きるかって考えたことあるか？ なかるねえ。俺は考えてるよ。俺はね、火星に行きたいねえ。

好きなことを思い切りやんなさい。それができないと学生じゃない。迷うな！ あと地球はね、47年と3ヶ月だから。

人間なんてねえ、俺いつも思うんだけどねえ、やっぱし休むことを考えないかん。そしてねえ、やることやらないかん。それが一番。けじめをつけなさいちゅうこと。

その気になったらその気になりなさい。右向かず左も向かずやってみろ。中途半端な人間が多すぎるんだ。世間体とかそんなこと気にしたらだめぞ。そんなこと気にし始めたらきりがないんだ。俺は気にしないね。みんな一緒だよ。人間で裸だからね。気取っててもね。

そろそろ寝ようかね。

5・ばあちゃんの育てた山

じゃあ行こうか。

あそこの岩にイワタケが出来るとたい。岩に生えるからイワタケ。

あれはヤマメの養殖場。小さいころは川にね、ホコ持つてからヤマメ捕りに行きよったただけけん。よう魚釣り行っただけけん。

山に行って木を切ったり枝打ちをしたりすると面白い。間伐は今ごろだけだ。冬の間。間伐は木が動かないとき、眠つとるときにすると。

これからが作業道。作業するために作るから作業道。道を作って木を植える。大変よ。それでも今は楽な方だよ。もうちょっと早くこんな道を作ればねえ、ばあちゃんも楽だったとにね。道がないころは苗木を背負っていきよったんだけん。前は歩いて行きよったただけけん。川沿いをずっとね。二時間も三時間も。だから今は贅沢だね。やっぱり近くまで行つた方がいいね。それから楽な仕事をしたいけんね。今からはばあちゃんが植えとつたところに行くけんね。

スリル満点だろ？ この辺はねえ、雨がふってねえ、道が川になる。道が傾いて危ないね。雨が降つたらもう山には登らない。



「落石」

お、落石だ。これは天然のマツの木。鳥が種を運んでくるとよ。

この木ハレギ。これねえ、家具を作るに使う。嫁入りんときの家具を作つたりね。幼木ん時はとげがあるんだよ。幼木ちゅうのは幼稚園ぐらいのときかな。そのときはとげがある。木もいっしょでねえ。子供といっしょなんだね。ずっとねえ、最初は手入れしていかないかんし。そして、成長させて。子供といっしょ。大人になるんもだいい苦勞しとっ。ぱっと見たときは静かでねえ、なあんも言わんけどね、だいい苦勞しとっ。

きれいかねえ。木が歓迎しとつとですな。

昔は学校が休みのときにはみんなが仕事するけん、山に、水汲みたいね。水汲み。みんなが水飲むために。休憩時間なんかね、汗かくでしょうが。だから水を汲んでいつてあげる。それが仕事だった。学生のとき。それアルバイ

ト。だいぶ貰いよったねえ。八百円ぐらいもらいよったかなあ。最高級だよねえ。37・8年ぐらい前。

前はね、山持ちは金持ちだったんだ。今はビンボー人だ。こっちにおる人たちはみんな山があるけんが残っとるわけ。持ち山がなかったらだあれもおらん。自分で管理をして。木がおっきくなったからね、ちょうど今間伐して、出さないかんとよ。出す人がおらんようになってしもた。みんな山に帰ってこんごつなって。特に女はもうほとんど嫁に行ってしまう。嫁に来る人がいれば、そっが一番良かった。やっぱり高校に行くでしょうが、就職したらもう



「きれいな川」

蓄積量が多かと。

前は水商売ってあったでしょうが。スナックのことを水商売ってね。十何年前は俺が水汲んでね、街に持って行ってやりよったたい。貴重なもんだけんね。それで水商売ってね。

こないだ迷ったちゅう人がおったけどな。何で迷うのかわからん。山の高さで方角を覚えとけば道に迷わんですむ。山の高さは木の高さでわかる。高いところになれば木は低くなるけんな。

ここの山ば見てみようか。こっちはまだ間伐する前の山。35年もののヒノキ。匂いがいいでしょ。ヒノキだけんね。まだこれから間伐していかんやんとたい。光が足りんでしょうが。あっちも見せるけんね。

ここも35年もののヒノキだけどね、間伐したけんだいぶ明かでしょ。ここは俺がこないだ切った。採算がとれないから切ったのはそのまま。持って行っていいよ。



間伐前

よし、帰ろうかね。

6・おじゃましました

また泊まりにおいでよ。5月がいいな。花が綺麗だけん。夏にすれば、そうめん流しするたい。そうめん流し。天然の。

気いつけて帰りなせ。気いつけてね。

高尾義明さん（53歳）

昭和24年熊本県泉村に生まれる。

高校卒業後は自動車会社に就職。

8年後泉村に戻ってきて家業「高尾林業」に就職。

林業で良い木、山作りに励まれる一方で、山の良さをより多くの人に知ってもらおうと、インストラクターの仕事やボランティア活動も積極的になさっています。

お忙しい中、今回は泊まりでお邪魔させていただきました。



間伐後